

平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年4月8日
上場取引所 福

上場会社名 日創プロニティ株式会社
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の業績（平成27年9月1日～平成28年2月29日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年8月期第2四半期 | 2,598 | △40.4 | 575 | △60.5 | 581 | △60.2 | 386 | △56.7 |
| 27年8月期第2四半期 | 4,360 | 19.7 | 1,458 | △4.5 | 1,460 | △4.5 | 892 | △0.6 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年8月期第2四半期 | 53.96 | 53.71 |
| 27年8月期第2四半期 | 122.38 | 121.75 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年8月期第2四半期 | 8,897 | 7,403 | 83.2 |
| 27年8月期 | 9,412 | 7,371 | 78.3 |

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 7,403百万円 27年8月期 7,371百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年8月期 | — | 0.00 | — | 35.00 | 35.00 |
| 28年8月期 | — | 0.00 | | | |
| 28年8月期(予想) | | | — | 30.00 | 30.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2. 27年8月期期末配当金の内訳 普通配当30円00銭、特別配当5円00銭

3. 平成28年8月期の業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,000 | △47.1 | 415 | △81.5 | 425 | △81.4 | 282 | △80.0 | 39.54 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年8月期2Q | 7,360,000株 | 27年8月期 | 7,360,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年8月期2Q | 251,300株 | 27年8月期 | 104,200株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年8月期2Q | 7,155,234株 | 27年8月期2Q | 7,291,292株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |
| 3. 補足情報 | 9 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に緩やかな回復基調が続き、設備投資は持ち直しの動きがみられました。また、企業収益は総じて改善傾向で推移し、企業の業況判断についても概ね横ばいとなっているものの、一部に慎重さが増す推移となりました。

このような状況のもと、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、きめ細かな営業活動を行いました。太陽電池アレイ支持架台、ソーラーネオポート、別注加工品、パネル類を主要品目とする「オーダー加工品部門」の売上高は2,291百万円(前年同四半期比43.4%減)となりました。この主な要因は、特に大型の太陽電池アレイ支持架台に関し、電力会社と発電事業者との間の系統接続が遅れているため、受注が確保できていないことによるものであります。なお、波板・折板等屋根材を主要品目とする「企画品部門」の売上高は195百万円(同23.9%増)、「その他部門」の売上高は110百万円(同29.4%減)となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における売上高は2,598百万円(前年同四半期比40.4%減)、営業利益は575百万円(同60.5%減)、経常利益は581百万円(同60.2%減)、四半期純利益は386百万円(同56.7%減)となりました。

当社の今後の対応方針としましては、経済産業省資源エネルギー庁が、下表のとおり、2030年に向けた「長期エネルギー需給見通し」を政策目標として決定していることを背景に、公共・産業向け太陽光発電の導入余力(見込み)41,600メガワットに対し、更に営業力・提案力を高め、受注と業績の拡大に鋭意努めていくこととしております。

2030年度における太陽光発電の導入見込み

| | 設備容量 (メガワット) | 既導入量 (メガワット) | 導入余力(見込み) (メガワット) |
|-----|-----------------|-----------------|----------------------|
| 住宅 | 9,000 | 7,600 | 1,400 |
| 非住宅 | 55,000 | 13,400 | 41,600 |
| 合計 | 64,000 | 21,000 | 43,000 |

出所：平成27年7月16日、経済産業省資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通し」

- (注) 1. 「住宅」は、10キロワット未満の太陽光発電設備区分であります。
 2. 「非住宅」は、10キロワット以上の太陽光発電設備区分であり、いわゆる公共・産業向けであります。
 3. 「既導入量」は、移行認定分を含め、平成24年7月の再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)開始時点から平成27年1月末までの累計導入量であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は、前事業年度末に比べ514百万円減少し8,897百万円となりました。これは主に、現金及び預金が509百万円増加し、受取手形及び売掛金が738百万円、仕掛品が114百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ547百万円減少し1,494百万円となりました。これは主に、未払法人税等が206百万円、その他に計上した未払消費税等が191百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ32百万円増加し7,403百万円となりました。これは主に、利益剰余金が132百万円増加したことと自己株式を99百万円取得したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ436百万円増加し、4,559百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は981百万円(前年同四半期は1,360百万円の獲得)となりました。主な収入要因は、税引前四半期純利益581百万円、減価償却費164百万円、売上債権の減少827百万円であり、主な支出要因は、その他に計上した未払消費税等の減少191百万円及び法人税等の支払額382百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は83百万円(前年同四半期は262百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の純増額73百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は460百万円(前年同四半期は421百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出100百万円及び配当金の支払額252百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年1月13日に公表しました業績予想の修正を行っております。詳しくは本日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成27年8月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,374,543 | 4,884,489 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,603,742 | 865,718 |
| 電子記録債権 | 103,697 | 13,973 |
| 商品及び製品 | 33,724 | 24,365 |
| 仕掛品 | 171,601 | 57,570 |
| 原材料及び貯蔵品 | 322,054 | 395,994 |
| 繰延税金資産 | 44,228 | 31,224 |
| その他 | 7,336 | 22,580 |
| 貸倒引当金 | △537 | △354 |
| 流動資産合計 | 6,660,391 | 6,295,562 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 916,233 | 891,031 |
| 構築物(純額) | 72,335 | 65,595 |
| 機械及び装置(純額) | 988,924 | 883,662 |
| 車両運搬具(純額) | 10,211 | 8,366 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 49,509 | 36,908 |
| 土地 | 583,088 | 583,088 |
| リース資産(純額) | 24,019 | 21,141 |
| 建設仮勘定 | 324 | 11,404 |
| 有形固定資産合計 | 2,644,646 | 2,501,198 |
| 無形固定資産 | 77,345 | 70,816 |
| 投資その他の資産 | | |
| 破産更生債権等 | 3,798 | 3,798 |
| その他 | 30,072 | 29,975 |
| 貸倒引当金 | △3,798 | △3,798 |
| 投資その他の資産合計 | 30,072 | 29,975 |
| 固定資産合計 | 2,752,064 | 2,601,990 |
| 資産合計 | 9,412,455 | 8,897,553 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成27年8月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 201,478 | 192,980 |
| 短期借入金 | 320,000 | 266,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 100,036 | 88,170 |
| 未払法人税等 | 400,208 | 194,037 |
| 賞与引当金 | — | 48,100 |
| その他 | 428,330 | 156,509 |
| 流動負債合計 | 1,450,053 | 945,797 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 70,303 | 32,171 |
| 退職給付引当金 | 38,672 | 40,244 |
| 長期未払金 | 300,200 | 300,200 |
| 繰延税金負債 | 160,924 | 158,279 |
| 資産除去債務 | 1,527 | 995 |
| その他 | 19,403 | 16,351 |
| 固定負債合計 | 591,031 | 548,242 |
| 負債合計 | 2,041,084 | 1,494,040 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,176,968 | 1,176,968 |
| 資本剰余金 | 1,102,806 | 1,102,806 |
| 利益剰余金 | 5,191,680 | 5,323,809 |
| 自己株式 | △100,084 | △200,071 |
| 株主資本合計 | 7,371,370 | 7,403,512 |
| 純資産合計 | 7,371,370 | 7,403,512 |
| 負債純資産合計 | 9,412,455 | 8,897,553 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,360,628 | 2,598,118 |
| 売上原価 | 2,442,489 | 1,616,484 |
| 売上総利益 | 1,918,139 | 981,633 |
| 販売費及び一般管理費 | 459,999 | 405,981 |
| 営業利益 | 1,458,139 | 575,652 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 326 | 869 |
| 受取配当金 | - | 1,530 |
| 受取家賃 | 2,907 | 2,517 |
| 受取補償金 | - | 2,432 |
| 貸倒引当金戻入額 | 20 | 183 |
| その他 | 1,076 | 393 |
| 営業外収益合計 | 4,330 | 7,925 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,504 | 933 |
| 自己株式取得費用 | 702 | 788 |
| 営業外費用合計 | 2,206 | 1,721 |
| 経常利益 | 1,460,263 | 581,856 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 158 | - |
| 固定資産除却損 | 8 | 222 |
| 特別損失合計 | 166 | 222 |
| 税引前四半期純利益 | 1,460,096 | 581,634 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 544,871 | 185,194 |
| 法人税等調整額 | 22,909 | 10,358 |
| 法人税等合計 | 567,781 | 195,552 |
| 四半期純利益 | 892,315 | 386,081 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 1,460,096 | 581,634 |
| 減価償却費 | 199,027 | 164,732 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 11,756 | △183 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 1,522 | 1,572 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 57,132 | 48,100 |
| 受取利息及び受取配当金 | △326 | △2,399 |
| 支払利息 | 1,504 | 933 |
| 固定資産売却損益(△は益) | 158 | - |
| 固定資産除却損 | 8 | 222 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △126,085 | 827,747 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 251,436 | 49,450 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 28,696 | △8,498 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △66,359 | △80,343 |
| その他 | 24,434 | △219,851 |
| 小計 | 1,843,002 | 1,363,117 |
| 利息及び配当金の受取額 | 326 | 2,399 |
| 利息の支払額 | △1,498 | △894 |
| 法人税等の支払額 | △481,525 | △382,982 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,360,304 | 981,640 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △80,322 | △248,397 |
| 定期預金の払戻による収入 | 63,811 | 175,358 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △219,424 | △8,471 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,100 | △2,444 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △25,560 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △262,595 | △83,954 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △46,000 | △54,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △52,698 | △49,998 |
| 自己株式の取得による支出 | △99,951 | △100,774 |
| リース債務の返済による支出 | △2,649 | △3,051 |
| 配当金の支払額 | △219,966 | △252,954 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △421,264 | △460,779 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 676,443 | 436,907 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,418,052 | 4,122,255 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,094,496 | 4,559,162 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、平成28年1月29日開催の取締役会において、吾孺ゴム工業株式会社の全株式(自己株式を除く)を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。また、同契約に基づき、平成28年3月15日に同社の全株式(自己株式を除く)を取得し、子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 吾孺ゴム工業株式会社

事業の内容 ゴム製品製造業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、平成27年10月13日付け公表の中期経営計画(平成28年8月期～平成30年8月期)において、「上限50億円のM&A及びアライアンスに係る戦略投資枠」を中期戦略として設定し、最終年度(平成30年8月期)における連結売上高を100億円、連結営業利益を15億円とする経営目標を掲げ、事業領域の拡大(事業の多角化)に取り組んでおります。当社は、この経営目標を達成すべく、「加工」をキーワードに事業領域の拡大(事業の多角化)を推進し、企業価値の向上を図ることを目的として、この度、吾孺ゴム工業株式会社を子会社として迎えることといたしました。

(3) 企業結合日(株式取得日)

平成28年3月15日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得した株式数

20,000株

(7) 取得した議決権比率

取得前の議決権比率 ー%

取得後の議決権比率 100%

(8) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価とする株式の取得により議決権の100%を取得したためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|--------|--------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 900百万円 |
|-------|--------|--------|

| | |
|------|--------|
| 取得原価 | 900百万円 |
|------|--------|

3. 発生するのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社は、金属加工事業の単一セグメントであるため、事業部門ごとに記載しております。

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業部門 | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日) | |
|---------|---|----------|
| | 金額(千円) | 前年同期比(%) |
| オーダー加工品 | 1,385,355 | 68.2 |
| 企画品 | 179,124 | 143.2 |
| その他 | 19,804 | 108.7 |
| 合計 | 1,584,285 | 72.8 |

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第2四半期累計期間の受注状況を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業部門 | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日) | | | |
|---------|---|----------|----------|----------|
| | 受注高(千円) | 前年同期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同期比(%) |
| オーダー加工品 | 1,524,497 | 70.1 | 403,614 | 28.2 |
| 企画品 | 184,973 | 117.5 | 5,000 | 125.3 |
| その他 | 95,654 | 67.8 | 8,816 | 20.0 |
| 合計 | 1,805,125 | 73.0 | 417,431 | 28.3 |

- (注) 1. 上記の金額には、端材収入等は含まれておりません。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業部門 | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日) | |
|---------|---|----------|
| | 金額(千円) | 前年同期比(%) |
| オーダー加工品 | 2,291,706 | 56.6 |
| 企画品 | 195,723 | 123.9 |
| その他 | 110,688 | 70.6 |
| 合計 | 2,598,118 | 59.6 |

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相手先 | 前第2四半期累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日) | | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日) | |
|--------|---|-------|---|-------|
| | 金額(千円) | 割合(%) | 金額(千円) | 割合(%) |
| 日揮株式会社 | 966,479 | 22.2 | 443 | 0.0 |

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。